

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: [report@r-ict-advisor.jp](mailto:report@r-ict-advisor.jp)

報告日 令和4年7月6日

派遣決定番号

報告回次

1日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	白川町	代表者名	細江 茂樹
担当者部署	企画課	連絡先電話番号	0574-72-1311
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木 元秀
住所	5091192 岐阜県白川町河岐715		

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	・町の商工会や観光協会、金融や公共交通、福祉医療などで組織するICT推進協議会にて「デジタルで変える・変わる地域の新しいコミュニティ」と題して講義を頂き、地域全体でデジタル化を推進することの意義や重要性を知ることができた。特に、出席した委員はICTに対する理解度が様々であり、また高齢化率の高い町ではデジタルへの抵抗感が少なからず感じられることから、高橋邦夫アドバイザーは協議会委員の立場を理解され平易な言葉で説明されたことで、参加者からは地域全体のデジタル技術の活用の必要性を十分理解したなどの感想が聞かれた。
アドバイザーへの要望事項	・地域におけるデジタル推進の意義、目指すべき姿のイメージ、他市町村の取組事例など。今後、ICT推進協議会で進める地域課題設定やデジタル化の取組についての予備知識の導入や意識づくりを依頼した。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月1日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			13時00分	17時00分	15
			活動時間 (分)	225	
3-2. 派遣場所	会場名	白川町役場	最寄駅	JR高山線 白川口駅	
	所在地	岐阜県加茂郡白川町河岐715番地	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	ICT推進協議会 (職員、一般、町内事業者等)	21 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	地域全体のデジタル化を推進するため、町議会や商工会・観光協会・金融・公共交通・教育・医療・福祉・警察・消防・ICT関連企業・地元ケーブルテレビなどで「地域情報化推進協議会」を組織し、地域の現況の整理や課題設定を進めていく必要がある。これまでは、各分野がそれぞれICT化を推進していたが、地域DXを推進するためや事業の持続性を高めるため協議会として取り組むこととした。これまでの取組の整理や地域のあるべき姿など共通認識を得るために、専門家のアドバイスが必要であった。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今後取り組むデジタル技術活用調査事業に向けて、ICT推進協議会の共通認識を得ることと、目指す姿や理念などを理解いただくこと。そのうえで、白川町が取り組むべき地域課題を設定して関係事業者やICTに関する事業者と共同で、すべての町民が活用可能なプラットフォームとなるシステムの開発研究を実施する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「デジタルで変える・変わる地域の新しいコミュニティ」講義 ・自治体DXの推進意義について、国の取組としてこれまでの経緯やデジタル3法、自治体DX推進計画の意義と目的の共通理解を得た。 ・デジタル田園都市国家構想について、地方への人流を取り戻すため仕事や雇用、教育医療など地域課題の解決が求められデジタル化による解決が模索されている。今後の論点やいくつかのモデル事例	

	味題の解決が、そのソリューションの活用による解決が期待されている。今後の調査やソリューションのセレクトが紹介された。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT推進協議会の委員は、デジタル技術の理解度や地域DX推進の意義など様々であるため、上記のアドバイザーに支援を受けた結果、デジタル技術の活用を必要性について十分な理解を得られた。</li> <li>別紙のアンケート結果でも、デジタル化の重要性や効果など十分な理解を得ることができ、地域全体で情報化に取り組む意識醸成が行われた。</li> <li>行政職員についても、情報化やペーパーレス・電子決裁・モバイルワークなどの効果を十分理解し、強かに推進する必要性を感じることができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていないアンケート結果
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	全3回の支援内容について、当初予定している通り進行している。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	地域で取り組むべき課題を設定し、デジタル化による恩恵を町民のすべてが受けられるシステムの開発を目指す。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



